

ぐるっと埼玉ポイント60」見どころガイド



多くの市町村を訪ねてみましょう！！



埼玉県サイクリング協会
創立60周年記念事業実行委員会

秩父市

三峰神社

由緒は古く今から二千年ほど前の景行天皇の時代と言われてい
ます。三峯山の信仰が広まった鎌倉期には、畠山重忠・新田義興等が、
又、徳川期には将軍家・紀州家の崇敬もあり、殊に紀州家の献上品
は今も社宝となっています。また、秋が訪れると秩父の山々に秋を
告げる「十五夜・月読祭」が行われています



秩父神社

約2,000年の歴史があり、秩父の総社として古くから崇敬を集
めています。柞（ははそ）の森の中に、風格ある荘厳な美しい佇ま
いを見せています。現存するご社殿は、1592年に徳川家康から
寄進されたもので、江戸時代初期の建築様式をよく留めていること
などから、埼玉県の有形文化財に指定されています。



橋立鍾乳洞

秩父札所28番「橋立堂」の背後に巨大な石灰岩の岩壁に口が開いて
いる洞内約200mに及ぶ橋立鍾乳洞があります。2つの支道に分か
れ、至る所に鍾乳石、石柱、石筍などが見られます。また、縄文時代
の住居跡である「岩かげ遺跡」があり県指定天然記念物に指定されて
います。



羊山公園

秩父市が一望出来る公園で、小高い丘の上に位置しています。一面
に植えられた芝桜で有名な「芝桜の丘」があることで知られており、
4月から5月上旬の「芝桜」の見頃の時期には、大勢の観光客で賑
わいます。また、芝桜以外にもソメイヨシノや八重桜などの桜も植
樹されています。



椋神社

1000年以上前の全国の神社一覧表である「延喜式神名帳」に掲
載されている古刹です。日本武尊が猿田彦命を祀ったと伝えられ、



それを基にした龍勢祭は10月第2週に行われており、県の無形文化財にも指定されています。また、農民の武装事件でもある「秩父事件」の舞台としても有名です。

横瀬町

道の駅 果樹公園あしがくぼ

山々の深い緑、横瀬川の清流、澄んだ空気と四季折々の花と果樹といった、豊かな自然に囲まれた道の駅です。駅内施設には、農産物直売所・食堂・休憩情報コーナー・体験道場（うどん・そば）・陶芸教室・ギャラリーがあり、屋外には交流広場や川を目下に眺める事が出来るデッキもあります。すぐ脇を流れる横瀬川の散策も楽しめます。



県民の森

奥武蔵丸山の北側にあり、面積は約68ヘクタールあります。森の中には、森林や林業の映画を見たり、話しも聞ける。森林学習展示館をはじめ、展望台、中央広場、オリエンテーリングコースなど、いろいろな施設が併設されています。更に、障害の有無や年齢にかかわらず森林を楽しむようウエルカムストリートも誕生しています。



あしがくぼ果樹公園村

西武鉄道の芦ヶ久保駅前に整備された秩父連山を一望できる大きな斜面に広がる果樹公園です。フルーツ農家で構成されています。2月上旬から6月中旬はイチゴ、7月上旬から8月中旬はプラム、8月中旬から10月中旬はブドウ、9月下旬から11月上旬はリンゴが収穫できます。



武甲山

武甲山は、秩父地域のシンボルとして、盆地の南にどっしりとした雄姿を誇ってきた標高1304mの名峰です。武甲山から小持山、大持山、妻坂峠へと続く健脚向けのハイキングコースも整備されています。また、武甲山の伏流水は平成の名水百選に選出され、地酒の仕込み水にも使われています。



横瀬町歴史民俗資料館

横瀬町の文化遺産の全般を展示する資料館です。横瀬の人形芝居（県指定無形民俗文化財）の舞台模型や武甲山御嶽神社宮殿模型・秩父絹と織機・巨大な花火筒・札所の古い奉納札・案内絵図・武甲山の動植物標本など数多くの文化財を保護・展示しています。



皆野町

美の山公園

「埼玉県に桜の名所をつくろう」という発想から、秩父市と皆野町にまたがる蓑山（みのやま）に、10年の年月をかけ約8,000本の桜を植栽し、昭和54年4月に開園しました。その後もツツジ・アジサイなどを植栽し、花の名所として親しまれています。70種類の桜も植樹されており、お花見の時期には多くの花見客で賑わいます。



秩父華厳の滝

札所34番の水潜寺から600mほど奥の所に秩父華厳の滝があります。高さ10数mの滝ですが、日光の華厳の滝とよく似ていることから、その名で呼ばれています。滝上には、目を大きく見開いたユニークな不動明王があります。また、春の新緑から秋の紅葉にかけての景観が大変素晴らしい滝です。



小鹿野町

丸神の滝

埼玉県内で唯一「日本の滝百選」に選定されている名瀑です。3段に分かれた落差約76メートルのこの滝は、新緑・紅葉と四季折々の美しさがあります。丸神の滝に行くハイキングコースは、滝前バス停から丸神の滝入口バス停の間、約1.5kmの周遊コースとなっています。

道の駅 両神温泉薬師の湯

温泉施設は、町営国民宿舎「両神荘」で利用していた温泉が好評で、容量が不足しつつあったため、昭和63年に国民休養地内に、両神温泉「薬師の湯」を開発しました。レストラン、そば打ち体験施設、農林産物直売所等が併設されています。



みどりの村

都市と山村と埼玉県が整備した自然と触れ合うための施設が「みどりの村」です。ここをとりまく西秩父の街並みと、秩父連山を一望出来る展望台をはじめ、園内の施設は季節ものを除き通年オープンしています。「子供の広場」「村の広場」「フィールドアスレチック」「サイクリング用道路」など様々な施設が設置されています。



おがの化石館

おがの化石館は、日本の地質百選に選定された「ようばけ」のそばにあります。この地層からは、世界でも珍しい奇獣パレオパラドキシア、新種として認定されたチチブサワラなどの化石が見つかっています。



埼玉県山西省友好記念館 神怡館

古い歴史を持つ中国山西省と埼玉県の友好県省締結を記念し建設され、山西省を中心とした中国の伝統や文化を展示紹介しています。館内展示の一部は、特別展の実施毎に入れ替わり、館内売店では300種以上の中国土産を販売しています。また、チャイナドレスを借りての写真撮影も楽しめる。



長瀨町

埼玉県立 自然の博物館

「過去から未来へ埼玉3億年の旅そして自然と人との共生」をテーマに、自然資料を収集・保管している博物館です。さ



まざまな化石、岩石や鉱物、地層の様子、大地の成り立ちがわかる「地学展示」や埼玉を代表する4つの森とそこにすむ動物たちの大ジオラマの「生物展示」の主に二つのホールから構成されています。

宝登山神社

今から二千年余りに、日本武尊により創祀されたと言われていいます。現在の御社殿は、江戸時代末から明治初頭に造り替えられた本殿、幣殿、拝殿より成る権現造りです。火災盗難よけ・諸難よけの守護神としての御神徳が高く、地元はもとより関東一円からの参拝者は、年間100万余を数えています。



長瀨岩畳

長瀨付近の代表的岩石は、上から見ると、まるで畳を敷き詰めたように見えることから「岩畳」と呼ばれています。紅葉の名所でもあり、「長瀨ライン下り」「荒川ライン下り」にて岩畳に囲まれながらの長瀨の景観は圧巻です。対岸には秩父赤壁と呼ばれる絶壁や明神の滝があります。



七草寺

季節の花を愛でるために万葉の歌人「山上憶良」が、季節に結びつく草花を詠った詩から生まれました。見頃は主に7月～9月いっぱいです。



ふじみ野市

ふじみ野市立 福岡河岸記念館

川越と江戸を結ぶ新河岸川舟運で栄えた福岡河岸の船問屋「福田屋」の建物を保存・公開し、舟運と問屋の暮らしを展示しています。離れは通し柱を使用する県内でも珍しい木造三階建ての建築物で、市の有形文化財に指定されています。定期的な展示会なども開催されています。



旧大井村役場庁舎

昭和12年(1937)に建てられた役場です。県内で現存する唯一の木造庁舎です。飾りの少ないシンプルな和洋折衷の建物で、建築当時の様子がよく保存され、国の登録有形文化財に指定されています。



大井戸跡

旧「大井町」の町名の由来となった井戸。平安時代に掘られたものと推定されます。発掘された井戸は、南北に長い楕円形で、長軸1.8m、短軸1.5m。現地表面から約30m下の立川砂礫層を掘り込んで、底面は岩盤に達していました。底部の石組だけは当時の状態のまま残っており、復元された状態を見ることができます。



入間市

旧石川組製糸西洋館

旧石川組製糸西洋館は、大正から昭和の初めにかけて全国有数の製糸会社であった石川組製糸の迎賓館として、大正10年頃に造られた西洋風木造建築物です。2階建ての本館は、外観が化粧煉瓦張で、屋根はヒップゲートル、洋瓦葺となっています。現在は、期日を限って臨時公開しています。



入間市博物館 ALIT

入間市博物館「アリット」は別名「お茶の博物館」と呼ばれています。煎茶道具の逸品の数々をはじめ、世界と日本各地のお茶の種類や飲み方などが展示されています。館内の資料閲覧室では、郷土やお茶に関する資料を中心に取り揃えています。



坂戸市

聖天宮

中国及び台湾の伝統宗教「道教」のお宮で、道教の最高神である三清道祖(さんせいどうそ)と、道教の神々が祀られています。天然石の彫刻品や金箔を施した木彫装飾など見所の多い神社です。



慈眼寺

安土桃山時代に開基されたと言われている慈眼寺は、坂戸市の天然記念物にも指定されている樹齢250年以上のしだれ桜が有名で、樹高が15mと大きな桜です。桜の見頃の3月下旬から4月上旬には「慈眼寺しだれ桜まつり」が開催され、コンサートや撮影会など様々なイベントで盛り上がります。



富士見市

水子貝塚資料館

縄文時代の森が復元された広い史跡公園の中に設立された資料館です。各遺跡から出土した考古資料が展示されています。この中には、約3万年前の旧石器時代の石器群から、県指定文化財の羽沢遺跡出土縄文土器、古墳時代初頭の鉄剣やガラス玉など数多くの資料が展示されています。また、土器作り、土笛・石器作り等の体験が出来ます。



富士見市立 難波田城資料館

難波田氏や難波田城をはじめ、中世から現代までの富士見市の歴史や民俗に関わる多くの資料を展示、解説しています。はたおり、田んぼ体験隊等、昔の農家の暮らしに触れられるイベントも行っています。また、「古民家ゾーン」は、明治初期に建てられ市指定文化財である古民家2棟と長屋門が移築復元されています。



川越市

川越大師 喜多院

1612年、徳川家康の信任を得る天海僧正が住職となってから大いに栄えました。1638年に川越大火によって喜多院のほとんどが焼失しましたが、3代将軍家光が江戸城から「家光誕生の間」「春日局化粧の間」が移築されています。また、全域が重要文化財に指定されています。日本三大羅漢の一つに数えられる「五百羅漢」が見られます。



蔵造りの町並み



川越には「蔵造りの町並み」が今も残っています。蔵造りは類焼を防ぐための巧妙な耐火建築で、江戸の町家形式として発達したものです。今の東京では見ることのできない江戸の面影をとどめています。平成11年12月には国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、平成19年1月には「美しい日本の歴史的風土100選」に選定されました。

時の鐘

時の鐘は、寛永年間に川越城主酒井忠勝が、城下多賀町に建てたものが最初とされています。現在の鐘楼は、明治26年に起きた川越大火の翌年に再建されたもので、3層構造の塔で、高さ約16m。暮らしに欠かせない「時」を告げてきた川越のシンボルです。現在、1日に4回（午前6時・正午・午後3時・午後6時）鐘を鳴らしています。



川越市立博物館

川越は関東地方の代表的な城下町で、歴史的・文化的な伝統に育まれて発展してきました。市内には土蔵づくりの店舗などに象徴されるように数多くの貴重な文化遺産が残っています。これらの資料を系統的に収集、保存、調査研究、公開することにより、郷土の歴史と文化に対する理解と認識を深める為の施設です。



朝霞市

旧高橋家住宅

江戸時代前期の木造平屋建て・茅葺の農家建築で、主屋を中心に、納屋・倉・木小屋・井戸小屋・祠などの付属屋が主屋の周りに位置しています。尚、雑木林や畑など周囲の環境も、建造物とともに武蔵野の農家景観を伝えているところから、敷地についても重要文化財に指定されています。



柁塚古墳歴史広場

「柁塚古墳」は埼玉県指定史跡の6世紀前半の前方後円墳で、歴史広場として整備されています。古墳の保存とともに緑地も保護し、敷地内には古墳の復元模型や、出土品をモデルとした家型埴輪の多目的トイレ、馬形埴輪のモニュメントなどが設置



されています。

和光市

新倉ふるさと民家園(旧富岡家住宅)

新倉ふるさと民家園は、和光市指定文化財「旧富岡家住宅」の移築復元後、平成18年に開園されました。旧富岡家住宅は、およそ300年前に創建されたと推定され、埼玉県内で最古の部類に入る歴史的価値の高い建造物です。また、園内には、潜り門・納屋風管理棟・蔵風ポンプ室等の建造物と、畑・池などがあります。



志木市

新河岸川河畔

新河岸川沿いのサイクリングコースでは、秋になるとキバナコスモスを始めとするコスモスが咲き乱れます。また、見頃の時期の10月初旬の日曜日には「コスモスまつり」が開催され、多くの観光客で賑わいます。また、春には桜も咲き、桜の名所としても知られています。

三芳町

旧島田家住宅

およそ180年前の文化・文政期に建築されたと考えられる茅葺屋根の民家住宅です。畑作新田として知られる三富の開拓が、さつまいもの導入により豊かになったことを証明してくれる大型の家屋であり、近郷農民の子弟を集めて寺子屋を開設していた時期もあることから、三芳町の教育の歴史も伝えてくれます。



三富新田

1694年、ときの川越藩主柳沢吉保の命により新田開発に着手し、2年後の1696年に上富・中富・下富合わせて241戸の村となり、短冊状の区画割りで有名な三富新田が誕生しました。今日でも美しい景観が残っており、埼玉県指定文化財に指定されています。



和光市

新倉ふるさと民家園(旧富岡家住宅)

新倉ふるさと民家園は、和光市指定文化財「旧富岡家住宅」の移築復元後、平成18年に開園されました。旧富岡家住宅は、およそ300年前に創建されたと推定され、埼玉県内で最古の部類に入る歴史的価値の高い建造物です。また、園内には、潜り門・納屋風管理棟・蔵風ポンプ室等の建造物と、畑・池などがあります。



新座市

平林寺

関東地方で名高い古刹の一つで、今から約600年前、岩槻に岩槻城主太田道真(道灌の父)が創建した。その後、江戸前期に川越城主、松平信綱・輝綱父子によって現在の新座市野火止の地に移されました。寺域一帯は、野火止塚や松平家の墓所などの文化財をはじめ、国指定天然記念物の雑木林など、武蔵野の面影を色濃く残しています。



野火止用水

承応4年(1655)、当時川越藩主であった松平信綱によって、武蔵野開発の一環として野火止台地開発のために開削された用水路です。玉川上水を多摩郡小川村から引水し、野火止大地を経て新河岸川にいたる、全長25キロにも及ぶ飲料水の確保を主目的とした生活用水です。



所沢市

トトロの森

スタジオジブリ作品「となりのトトロ」の舞台と言われる狭山丘陵は、畑や田んぼや湿地と、その周りの雑木林が昔ながらの姿で残っている貴重な場所です。まるで「となりのトトロ」の中に出てくるような風景は、自然の大切さを感じることができます。



山口観音(金乗院)

弘法大師の開基といわれており、真言宗豊山派 吾庵山放光寺金乗院は、武蔵野三十三観音霊場の第13番霊場です。新田義貞が戦勝の祈願をしたと伝えられています。山口観音4体の千手観音像があり、本堂の天井には墨絵の「鳴き竜」が描かれています。



所沢航空発祥記念館

館内は10のエリアからなり、飛行機に関するさまざまなことに触れてみて体験できるようになっています。大型映像館や工作教室、航空機・エンジン等の展示館などが併設されています。また、イベントや公開講座も多数開かれています。



狭山湖

狭山湖は、所沢市の西部に広がる狭山丘陵に抱かれ、県立狭山自然公園の中心地にあります。正しくは山口貯水池といい、昭和9年に完成したものです。春には2万本もの桜が咲きみだれ、市内で最も桜の本数が多く、満開の時期には県内外から沢山の花見客が押し寄せる所沢1番の桜のスポットです。



飯能市

天覧山

天覧山は標高195mで、登山口から頂上まで約20分とハイキングに最適です。春は桜、秋は紅葉が楽しめ、晴れた日には天候が良い日には、東京都の観光名所「池袋サンシャイン60」、そのやや北側に東京都新名所「東京スカイツリー」を見渡すことができます。また、天覧山のふもとの中央公園では、毎年春に「飯能さくらまつり」が開催され、お花見や夜桜見物などで多くの観光客で賑わいます。



子ノ権現(天龍寺)

武蔵野観音第三十二番札所で、1012年に開山された古刹です。足腰守護の神仏として信仰を集め、山の愛好家にも親しまれています。境内には2トンの重さのある日本一の鉄ワラジ(写真)があることで有名です。毎年6月10日は開山日を記念し、箸立ての儀が行われます。また、県天然記念物の樹齢800年の2本杉があります。



竹寺

武蔵野観音三十三番結願寺で、竹に囲まれ落ちついたたたずまいを見せる山寺です。明治維新の神仏分離令をのがれ、お寺と神社が同居し

6

た東日本唯一の珍しい寺です。春と秋にの旬の素材を使った精進料理（予約制）が有名です。

正丸峠

飯能市と横瀬町の境界にある標高636メートルの峠です。峠からの展望は良く、奥武蔵や奥秩父の山が望めます。峠には茶屋やレストランがあり、名物のジンギスカン料理が楽しめます。またアニメ「頭文字D Second Stage」で登場し、茶店では同作品のステッカーが販売されています。



鶴ヶ島市

日光街道（脇往還）

日光街道は徳川家康をまつる日光東照宮と周囲の町の火番役のため八王子千人同心が往復した街道でした。杉並木と桜が街道を彩り、日光と八王子、川越と越生を結ぶ2つの街道が交わる脚折の交差点には、1821年に建てられた道しるべが残されています。



脚折のケヤキ

白鬚神社の本殿裏にあるご神木のケヤキは樹齢900年といわれ、県の天然記念物に指定されています。かつては樹高が36mもありましたが、暴風雨によって折られるなどしたため、現在の樹高は約17mです。



日高市

高麗神社

高句麗からの渡来人高麗王・若光を祀る神社です。浜口雄幸、若槻禮次郎、斉藤実、小磯国昭、幣原喜重郎、鳩山一郎らが参拝後相次いで総理大臣となったことから「出世明神」と広く知られています。現在は年間約40万人の参拝があります。梅や桜の名所としても知られています。



巾着田

市内の中央を流れる高麗川が蛇行し、上空から見ると巾着袋の形をしているところから「巾着田」と呼ばれています。日本有数の曼珠沙華群生地として知られているほか、春には2ヘクタール分の菜の花の甘い香りで満たされ、初夏にはアジサイ、蓮と四季折々の花を楽しめます。



聖天院

高麗王若光の菩提寺（ぼだいじ）として建立されたもので、不動明王、聖天尊をまつっています。江戸時代には幕府より15石の朱印状を拝領していた由緒ある寺院です。また、山門の右側には、当時最も進んでいた大陸文化をこの地に広めたと言われる一族の統率者若光の墓があります。



狭山市

狭山市立博物館

「県営狭山稲荷山公園」の中にある博物館で、年に3回の当館独自の企画展のほか、体験学習や各種講座などを定期的に開催しています。常設展示では原始時代から古代、中世、そして狭山の骨格が形成された近世、さらに明治維新以降現在に至るまでの狭山の歴史と人々の足跡を、実物資料、復元模型、レプリカ、映像などを展示しています。



堀兼之井

堀兼神社の境内にあり、直径7.2m、深さ1.9mの井戸の中央には石組の井桁がありますが、現在は大部分が埋まっており、その姿がかつてどのようであったかは不明です。都の貴人や高僧に詠まれた「ほりかねの井」のひとつと考えられており、掘られた年代は平安時代まで遡ることが出来ます。県の文化財に指定されています。



七曲井

遅くとも9世紀後半から10世紀前半にかけて、武蔵国府の手により掘られたと考えられている井戸で、清少納言が著した『枕



草子』の中で登場する「堀兼の井」の一つと考えられています。すり鉢型の井戸で、筒部はほぼ中央にあり、松材で組んだ井桁からなっていることが判明しています。県の文化財に指定されています。

東松山市

箭弓稲荷神社

和銅5（712）年創建と伝えられています。五穀豊穰、商売繁盛、芸道向上の神様として広く知られ、正月の初詣者数は県内でも有数です。江戸時代に建てられた本殿には見事な彫刻が施され、大絵馬も重要なものです。付棟札は県指定の文化財になっています。境内には県内でも有数のぼたん園があり、見頃の5月上旬頃には多くの人出で賑わいます。



埼玉県平和資料館

風化しつつある戦争の体験を次の世代に引き継ぎ、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えていくために設けられた施設です。常設展示室では県民生活と戦争とのかかわりを展示するほか、当時の国民学校や防空壕を再現して、来館者が体験できるようになっています。戦争の悲惨さを伝えるアニメ映画も毎日5回上映しています。そのほか、関東平野が一望できる海拔147.5mの展望塔など魅力満載です。



物見山

東松山市の南部にある標高135mの物見山には、約4万本のツツジが、春には桜とともに美しい花を楽しむことができます。その山腹には坂東三十三ヶ所霊場の十番札所、岩殿観音正法寺があり、付近にはこども動物自然公園や平和資料館などもあり、手軽なハイキング地として親しまれています。



岩殿観音 正法寺

坂東札所10番として有名で、かつての門前市を偲ばせる家並みが尽きると目前に仁王門が迫り、訪れる人を迎えます。石段を登ると観音堂と大イチョウが目に入ります。県指定文化財で鎌倉末期の銅鐘や六面幢、薬師堂、鐘楼などの史跡も豊富です。



原爆の図 丸木美術館

原爆の図で有名な丸木位里、俊夫妻が建てた美術館で、原爆や戦争を題材とした作品が展示されています。企画展やアートスペース企画なども定期的に行われています。また、「原爆の図」をはじめとした丸木位里・俊夫妻の図録を販売するほか、「原爆の図」や丸木夫妻関連書籍、絵本も多数取り扱っています。



毛呂山町

鎌北湖

農業用貯水池として完成した人造湖です。奥武蔵自然歩道の基点になっているため、年間を通して多くのハイカーが訪れています。湖の周囲にはソメイヨシノやもみじが植えられ、四季を通じて美しい景色が見られます。ボートに乗って湖面からの景色を眺めたり、へらぶな釣りを楽しむこともできます。



越生町

黒山三滝

黒山三滝は、男滝、女滝、天狗滝の3つの滝の総称です。日本観光百選にも選ばれた景勝地で、春の新緑、夏の清涼、秋の紅葉は格別です。室町時代に山岳宗教修験道の拠点として開かれ、広く信仰を集め、三滝を中心とする広い地域が県立黒山自然公園に指定されています。



越生梅林

関東3大梅林に数えられる越生梅林。梅園神社に九州太宰府天満宮を分祀した際、菅原道真公にちなんで梅を植えたことが起源とされています。約2ヘクタールの園内には、600年以上前に植えられた古木をはじめ、白加賀・越生野梅・紅梅などが約千本あります。2月中旬～3月下旬には梅まつりが開催され、大勢の観梅客で賑わいます。



山吹の里歴史公園

「七重八重花は咲けども山吹の 実の一つだに無きぞかなしき」の和歌で有名な太田道灌ゆかりの地として知られています。春風に揺れながら黄金色に輝くヤマブキ3000株が4月中旬から下旬にかけて咲き乱れます。水車小屋とマッチして風流な趣を醸し出します。



滑川町

国営武蔵丘陵森林公園

明治百年を記念して造られた国営公園です。武蔵野の面影が残る緑豊かな自然の中で、サイクリングや散策、自然観察など、ご家族で一日ゆっくり過ごせます。四季を通して紅葉や桜、サルビアなど様々な花が咲き誇り、花の公園としても有名です。また、サイクリングセンターも併設されており、自転車での園内を散策が出来ます。



鳩山町

JAXA 宇宙航空研究開発機構 地球観測センター

地球観測センターは、比企丘陵に囲まれた自然の中で、季節ごとの様々な風景を楽しみながら施設を見学していただけます。展示室では、地球観測衛星の模型や、衛星からの地球の画像を見ることが出来ます。また、インターネットやパソコンでのクイズも楽しめます。また、春と秋には通常は見る事が出来ない内部設備を公開しています。



嵐山町

オオムラサキの森活動センター

雑木林の素晴らしさを知ってもらうための場です。4つの区域(保全観察林、展示見本林、実験林、観察林)に分かれています。展示見本林の中には、オオムラサキの森活動センターがあり、そこにはオオムラサキの生態や森作りの活動を知ることのできるビデオや、オオムラサキの四季の営みがわかるしくみになっています。



嵐山溪谷

都幾川の支流槻川に架かる槻川橋の上流が、武蔵嵐山と呼ばれています。眺めが京都の嵐山に似ているので、その名が付いています。紅葉



も見事で、紅葉、コナラ、クヌギ、桜がお楽しみ頂けます。紅葉の見頃は11月下旬から12月上旬です。昭和14年には与謝野晶子もこの地を訪れ歌を詠んでいます。

笛吹峠桜並木

「都幾川桜堤」と並ぶ嵐山の桜の名所の一つです。鳩山町と嵐山町の境目に位置する笛吹峠は、3月下旬から4月上旬になると満開の桜が一面に広がります。また、笛吹峠は南北朝時代に合戦が行われた場所としても知られ、町の史跡に指定されています。



菅谷館跡

都幾川を南に臨む「菅谷館跡」は、畠山重忠が鎌倉時代の初めに館を構えた場所と伝えられ、現在は「菅谷館跡」の中に、嵐山史跡の博物館が設立されています。またこの周辺は山百合が自生していることで知られ、例年7月ごろに見ごろを迎えます。その他、梅や桜なども植樹されています。



小川町

川町和紙体験学習センター

小川町和紙体験学習センターでは、どなたでも本格的に和紙の原料(紙料)作りから学べる手漉き和紙体験教室を年間通して開催しており、材料の仕込みから紙漉きに至るまで充実した機材を使用できる全国でも珍しい施設です。また建物は趣のある木造建築で文化財としても大変貴重な場所です。



カタクリとオオムラサキの林

昔の小川町の風景を取り戻そうと地域住民が保護活動を初め、今では一面にカタクリが咲き誇る一大群生地となっています。カタクリとニリンソウの里・西光寺境内の3ヵ所で見ることができます。道の駅おがわまちから散策コースがあり、初春には可憐な薄紫色のカタクリや純白のニリンソウ、枝垂桜などが咲き誇ります。毎年7月上旬には、オオムラサキの放蝶会も行われます。



吉見町

岩室観音堂

創建は810年ごろに弘法大師が岩窟を選び、高さ一尺二寸の観音像を彫刻して納めた事に由来すると伝えられています。1590年の松山城落城の際、建物のすべてが焼失しましたが、不思議と観音像だけは、岩窟内に残ったと言われています。これらの仏像を拝めば、八十八の札所を巡礼したのと同じご利益があるとされています。



吉見百穴

今から約1,300年前の古墳時代終末期の横穴墓群であり、国史跡に指定されています。現在、二百十九個の穴が数えられます。また、吉見百穴には大規模な地下軍需工場が造られ、その内部の一部が見学できます。最低部にある二つの横穴で、ヒカリゴケが幻想的な緑色を放っており、国の天然記念物に指定されています。桜の名所としても知られています。



安楽寺 (吉見観音)

古くから吉見観音の名で親しまれてきました。平安時代の末期には、源頼朝の弟範頼がその幼少期に身を隠していたと伝えられ、安楽寺の東約500mには「伝範頼館跡」と呼ばれる息障院があります。また、例年10月中旬から11月中旬までは境内の紅葉が最盛期を迎えます。



八丁湖公園

周囲がおおよそ2kmと小さめの人造湖「八丁湖」に隣接する公園です。山々や豊かな自然に恵まれた美しい湖で、遊歩道が整備されており、ジョギングやウォーキングが楽しめます。また、「八丁湖」は春は桜、秋は紅葉も有名です。



川島町

ホンダエアポート

操縦訓練 (ホンダフライングスクール) やチャーターフライト (セスナ・ヘリ) を行っており、毎年ゴールデン・ウィークにはエアポートフェスティバルを開催しており、一日中空を見ても飽きないほど、さまざまな展示飛行が行われます。

遠山記念館

遠山記念館の邸宅は川島町出身である日興証券の創業者・遠山元一が幼少時に没落した生家を再興し、苦勞した母・美以の住まいとするために建てたものです。美以没後は主として遠山元一の接客に使用されました。遠山元一が長年にわたって蒐集した美術品を広く一般に公開しています。



ときがわ町

堂平天文台 「星と緑の創造センター」

関東一円を一望する堂平山頂にある体験施設。ログハウスやモンゴロ式テントがあり、キャンプや森林体験ができます。堂平天文台 (旧国立天文台堂平観測所) では星空観察を定期的に開催。毎年5月ごろには、たくさんのツツジが咲き誇ります。7月中旬から8月下旬には、ブルーベリー摘み体験もできます。



三波溪谷

青い石に白い筋の入った奇岩が都幾川の清流に洗われ、美しい景観を見せる溪谷。新緑や紅葉のころは特におすすめ。ピクニック広場が整備され、バーベキューも楽しめ、多くの観光客で賑わっています。



木のむら物産館 (都幾川農林産物直売所)

この地域で生産された品々を取りそろえ、生産者のまごころをお届けする直売所です。いつも新鮮な品物がいっぱいの店内では、四季折々の様々な顔をした「ふるさと」を感じることができます。誰もが心の中に忘れられない「ふるさと」があるはずです。



熊谷市

妻沼聖天山

日本三大聖天さまの一つとして知られ、特に縁結びの霊驗あらたかで、夫婦の縁はもちろんのこと、家内安全・商売繁盛・厄除け開運・交通安全・学業成就などのあらゆる良縁を結んで頂けます。4月・10月の例大祭、初詣や節分会には、大勢の人で賑わいます。本殿は国宝に指定されています。本殿の改修工事が完了し、約250年前の、埼玉日光と呼ばれる煌びやかな姿が蘇りました。



四季の湯温泉 ヘリテイジリゾート

まるで別世界のように埼玉武蔵丘陵の深い森に包まれた静かな天然温泉リゾートホテルです。199室の本館「ホテル・ヘリテイジ」と51部屋の別館「ホテル・アスパイア」があり、部屋タイプも様々です。首都圏最大級の天然温泉（掛け流しと加温循環濾過式併用）大露天風呂「四季の湯温泉」を求めに遠方からも多くの方が訪れます。



熊谷スポーツ文化公園

平成16年に「彩の国まごころ国体」「全国障害者スポーツ大会」が開催されたこの公園で、スポーツ・文化活動のための施設が整備されています。また、テニスやピラティス教室なども定期的に開催されています。



深谷市

旧渋沢邸「中の家（なかんち）」

旧渋沢邸「中の家」は、渋沢栄一縁の地です。渋沢家の住宅として使用され、栄一自身も、年に数回はこの家に帰郷しました。尚、栄一の家は明治25年に焼失しており、現在の建物は明治26年に建てなおされたものです。



渋沢栄一記念館

近代日本経済の父といわれる『渋沢栄一』の功績を広く顕彰するために、平成7年11月にオープン。資料室には、写真や伝記資料など約150点が展示される他、貴重な肉声のテープなどが放映されています。



誠之堂・清風亭

深谷市で生まれた渋沢栄一にゆかりのある建物で、平成11年に東京世田谷区から深谷市に移築されました。「誠之堂」は国指定重要文化財、「清風亭」は県指定有形文化財に指定されています。

本庄市

塙保己一記念館



昭和42年に城山公園（雉岡城址）内において開館しました。江戸時代中期の国学者「塙保己一」の記念館で、館内には「群書類従」とその原木をはじめ、古文書など約200点を展示しており、そのほかにも生涯大切に持っていたとされる母手縫いの巾着など塙保己一の遺品等も多く展示されています。

塙保己一旧宅

塙保己一は1746年5月5日、児玉郡保木野村（現本庄市児玉町保木野）に生まれ、7歳にして失明し、その後、15歳で江戸に出て修業を積み総検校という最高位に登りつめました。保木野には保己一の生まれた入母屋造りの茅葺き二階建ての生家があり、国の史跡に指定されています。近くには墓地もあります。



立岩寺

ぼけ封じ関東三十三観音霊場の三十番札所になっている立岩寺は、ボタン寺として知られています。前々住職と親交の厚かった児童文学者・故小野忠孝の詩碑が静かに見下ろす境内には、赤白黄に紫など多彩な牡丹130種1,500株と藤の花などが見事に咲きそります。



上里町

陽雲寺

曹洞宗崇栄山陽雲寺は、元久2年（1205）の再興と伝えられ、当時は満願寺と号していました。天正10年（1582）、神流川合戦において焼失しましたが、同19年（1591）に、川窪与左衛門尉信俊（武田信玄の甥）によって再建され、居城となりました。



金窪城跡

金窪城は、治承年間（1177～80）に加治屋治が築城し、天正10年（1582）の神流川の合戦で落城後、川窪氏が城主となり、丹波に転封する元禄11年（1698）に廃城となりました。土塁や堀の後が一部に残り、往時を忍ばせています。また、「金窪城跡公園」と隣接しています。



神川町

三波石峡

登仙橋から下久保ダムまでの約1.3kmの三波石峡は、国の名勝・天然記念物にも指定されている美しい渓谷です。三波石の巨岩や奇岩と周囲の樹木が織りなす景観は、まさに自然がつくりだした芸術です。「三波四十八石」といわれる48個の巨岩・奇岩にはそれぞれ名前がつけられています。



城峯公園

神流湖を望む高台にある城峯公園は、春から秋にかけてたくさんの花々が咲き誇ります。春にはつつじ、八重桜、さつきなどが公園を美しく彩ります。また、晩秋から初冬にかけて開花する冬桜は、別名十月桜とも呼ばれている珍しい桜です。薄紅色の小さな八重の花を咲かせ、周囲の紅葉した樹木と共に美しい光景を見せてくれます。



神流湖・下久保ダム

神流湖は、昭和43年に完成した下久保ダムによって、利根川と通ずる神流川をせき止めてできた人造湖です。神流湖では、コイやヘラブナ、ワカサギなどの25種類の魚が生息しています。下久保ダムはこの陸封型アユの再北限と言われています。下久保ダムで育ったアユは次の年には天然アユとして神流川上流に遡上していきます。



美里町

水殿瓦窯跡

この国指定史跡である窯跡は、鎌倉時代のもので、現在4基の窯跡が確認されています。ここより、出土した瓦は、文治5年(1189年)に源頼朝が奥州藤原氏の平泉の諸堂を模して建立したといわれる鎌倉二階堂永福寺跡出土の瓦と大変似ており永福寺修理の際に使用された瓦がここで生産されたと思われます。



寄居町

埼玉県立川の博物館



荒川の右岸の広い敷地に、魅力的な展示施設や親水施設などが配置された川や水に親しみ、楽しみながら学べる参加体験型の博物館です。荒川をささ舟に乗りくぐる疑似体験ができる「アドベンチャーシアター「かわせみ号」や、水の科学的性質を楽しみながら学べるウォーターアスレチック「荒川わくわくランド」が人気です。

円良田湖

昭和30年に灌漑用貯水池として作られた人造湖で、周囲には1000本からなる湖畔の桜は樹齢30年以上と言われています。少林寺へ続く山道には椿、紅梅、寒桜が植えられその時期になるとハイカーの目を楽しませてくれます。湖では年間を通じてヘラブナ釣り、冬期にはワカサギ釣りで賑わいます。



鉢形城跡

市街地と荒川を隔てた断崖上に位置し、今は石碑があるのみです。文明5年(1473)長尾景春が築城、後に小田原北条氏の領有となりました。天正18年(1590)豊臣秀吉の小田原攻めの際に落城しました。この石碑は田山花袋が鉢形城址で読んだ詩を武者小路実篤が書いたものです。



日本水

釜山神社から約700m釜伏山北面百畳敷岩かわ湧水し、枯れたことがないとされる名水である。日本武尊東征の折、当山に戦勝を祈願、喉の渇きに御剣を岩壁に刺したところ湧水したと伝えられ、水の冷たさに一杯しか飲めなかったということから「一杯水」の別称があります。名水百選に選定されています。



東秩父村

秩父高原牧場 (彩の国ふれあい牧場)

東秩父村と皆野町にまたがる広さ352haの県営牧場です。酪農や畜産についての展示体験室(モーモーハウス)・直売所・ヤギとふれあいもできる動物広場・乳牛や肉牛の放牧広場・展望広場・樹林に親しむ広場・多目的広場などがあります。また、牧場内には1000万本の赤いシャレーポピーが咲き乱れ、「天空を彩るポピーまつり」も毎年開催されています



東秩父村 和紙の里

東秩父村に古くから伝わる和紙づくりをテーマにした施設で広大な庭園の中に紙すき旧家の「紙すき家屋」や資料館、和紙の製造所では紙すきも体験できます。又、手打ちそば・うどんのお店「すきふね」もあり、予約でそば打ち体験も楽しめます。



さいたま市

[さいたま市西区]

秋葉神社

秋葉神社は聖武天皇の天平年中（凡そ1250年前）に創建されたと伝えられ、江戸時代山之内一唯公が中茎（現中釘）に治行所を置かれるにあたり守護神として篤く崇敬され、寛文元年社殿を改築されました。また、元文4年紀州徳川家御祈願所となり篤く崇敬されました。御祭神は火之迦具土神を始め14柱の神をお祀りし火防、盗難除、家内安全、百難消除、延命長寿の神として関東一円に崇敬され春秋の例大祭には各地より多くの方が参拝に訪れます。



けんぽランド

さいたま市の北西部荒川治水橋下左岸河川敷に位置し、主に業種別健康保険組合、民間企業が共同で運営する総合運動場です。広さ約23万坪を誇り、この広大な敷地に野球場51面、テニスコート100面その他サッカー・ラグビー場等様々な施設を有している。

[さいたま市北区]

大宮盆栽村

東武野田線とJR宇都宮線に囲まれた大宮公園北側一帯の総称を「大宮盆栽村」と呼び、関東でも有数の盆栽郷として知られ、『盆栽町』と言う町名も付けられています。戦前は30数軒の業者を数え、業者だけでなく盆栽村に住む人たちも盆栽を持って親しまれましたが、現在の盆栽町には5軒の盆栽園が点在しています。



漫画会館

日本近代漫画の創始者「北澤楽天」の偉業を記念し、近代漫画の先駆者「北沢楽天」の晩年の住居跡に建てられた、日本初の漫画に関



する美術館です。政治風刺から家庭漫画まで多彩な楽天の資料を始め広く漫画文化の普及を目指しており、特別展示室や日本庭園なども併設されています。

[さいたま市大宮区]

大宮公園

明治18年、埼玉県最初の県営公園として誕生しました。園内には、樹齢百年を超える赤松がそびえる赤松林や、名物の1200本もの桜をはじめ、新緑や紅葉が美しい樹木が林立しています。また、公式野球場、双輪場（兼陸上競技場）、サッカー場、プール（競泳用）、体育館、弓道場、小動物園、児童遊園地なども併設されています。



鉄道博物館

博物館は大きく歴史ゾーンとラーニングゾーンに分かれています。歴史ゾーンでは実物の車両を展示の中心として、鉄道の技術史を分かりやすく解説しており、ラーニングゾーンでは実物の部品や模型などを使用して、鉄道の原理や仕組みなどを体験的に学習頂けます。その他にも体験型の施設が充実した県内でも屈指の観光スポットです



武蔵一宮氷川神社

2,000年以上の歴史をもつといわれ、今から千年以上前の全国の神社名簿でもある「延喜式神名帳」にも掲載され、大いなる宮居として大宮の地名の由来にもなった日本でも指折りの古社です。武蔵一宮として関東一円の信仰を集め、初詣には多くの参拝客で賑わいます。また毎年5月には境内で恒例行事の大宮薪能が開催されています



埼玉県立歴史と民俗の博物館

平成18年に、それまでの埼玉県立博物館と埼玉県立民俗文化センターが統合されて新しくオープンした歴史・民俗・美術を総合的にあつかう人文系総合博物館です。歴史・民俗・美術の



三つの展示室で構成された常設展示室、年に数回開催される特別展と企画展、様々な体験学習メニューを用意した体験施設「ゆめ・体験ひろば」があり、講座や体験学習も盛んに行っています。

[さいたま市見沼区]

旧坂東家住宅・見沼くらしっく館

市指定文化財の旧坂東家住宅は片柳の加田屋新田を開発した、坂東家の屋敷をほぼ同じ位置に復原したもので、かつての農家の環境を再現した、野外博物館でもあります。生きている民家をテーマに「季節の行事」やそれにちなんだ展示、体験教室などを開催しています。



市民の森

常緑樹、落葉樹が植えられ四季を通して豊かな緑があふれる市民の森、広大な芝生広場、リスを放し飼いしているりすの家、熱帯・亜熱帯の植物が展示されている展示温室、盆栽展示場、健康歩道、林間テラス、見沼グリーンセンター本館などの施設があります。

[さいたま市中央区]

さいたまスーパーアリーナ

音楽、スポーツ、産業、文化など、国内はもとより、世界のさまざまなイベントが催される、新しい埼玉の象徴となる多目的施設です。世界最大級の可動システムにより、約6千人から約3万7千人までの多彩なイベントに対応しています。例年冬季にはさいたま市で最大規模のイルミネーションで広場が飾られます。



与野公園

明治10年に開設された約51,000㎡の緑の公園です。埼玉自然100選にも選ばれている与野公園は、桜とバラの名所として有名です。染井吉野の桜や170種類、約3000株のバラが咲き乱れます。また、与野七福神の一つの天祖神社（寿老人）もあり、お正月には多くの観光客で賑わいます。



彩の国さいたま芸術劇場

埼玉の舞台芸術活動の拠点施設です。演劇・舞踊・音楽・映像のための4つの専用ホールでは、臨場感あふれる質の高い舞台を上演しています。また、劇場の芸術監督を埼玉県川口市出身の蜷川幸雄氏が務め、「彩の国シェイクスピアシリーズ」と題し、シェイクスピア全作品の上演を敢行しています。



与野の大カヤ

金毘羅天堂の境内にそびえ立つ「かや」の木は、全高21.5m、樹齢約1000年と伝わる関東随一の巨木で、国の天然記念物に指定されており、与野の大カヤとして親しまれています。また、金毘羅天堂には、金毘羅天立像が安置されており、毎年2月10日には、ダルマ市が開かれます。



[さいたま市桜区]

秋ヶ瀬公園

荒川沿いの羽根倉橋と秋ヶ瀬橋間の南北約3km、荒川左岸堤内内と鴨川右岸の間を東西に沿った約1.5Km四方で、100.1haが開設されている。163.7haが都市計画決定されています。旧浦和市時代の1971年(昭和46年)6月1日に開園しました。



田島ヶ原サクラソウ自生地

国の特別天然記念物に指定されたサクラソウの自生地である。さくら草公園が整備されています。



プラザウエスト

プラザウエストは、ホール、市民交流施設（各種アトリエ・多目的ルーム・セミナールームなど）のほか、桜図書館・桜区役所を併せもつ複合施設で、多様なニーズをもった地域住民の交流の場、憩いの場として、様々な催しにも対応できる空間を配したものとなっています。



[さいたま市浦和区]

埼玉県立近代美術館

「見る、創る、発表する」機能を備えた近代美術館では、収蔵品を中心としたMOMASコレクションの開催とともに、講座やイベント、ボランティアの活動なども活発に行っています。また、定期的に一般展示室の展示物の入れ替えや、企画展や展覧会も開催しています。



調神社

平安時代の全国の神社名簿である「延喜式神名帳」に掲載されている古刹です。現在の社殿は1859年竣工とされています。地元では「つきのみや」との愛称で呼ばれています。鳥居のない神社として有名で、狛犬ではなく兔が置かれているのも全国的に珍しい風景となっています。



[さいたま市南区]

別所沼公園

別所沼は釣りも可能で、噴水や弁財天がある弁天島があります。沼の周囲にはメタセコイアなどが茂り、その間に散歩・ジョギングコースがあります。また園内には、児童広場や多目的広場、詩人「立原道浩」を記念したヒヤシンスハウスなどもあり、水と緑と広場が調和した公園として親しまれています。



浦和競馬場

さいたま市南区に所在する地方競馬の競馬場である。



サウスピア

複合公益施設サウスピアは、市民の連帯意識を高め、地域コミュニティづくりのための施設です。子育て支援センターみなみ、武蔵浦和図書館、南区役所、シニアふれあいセンターサウスピアがあります。

[さいたま市 緑区]

埼玉スタジアム2002

2002年のワールドカップサッカー大会では、準決勝を含めて4試合の会場になりました。63,700人の観客席を有する日本で最大のサッカー専用スタジアムとして知られています。サッカー専用スタジアムのため、観客とフィールドの距離が近く、選手の激しい動きを直接感じ取ることが出来ます。



見沼通船堀

1731年に開通した閘門式運河で、この開通によって江戸との産業交流はおおいに発展しました。また、見沼通船堀沿いには公園化されており、散策道や趣のある竹林などが整備されています。閘門開閉実演は毎年8月下旬に行われています。また、幕府から通船の差配役を任されていた鈴木家の住宅が残っています。



大崎公園

約38,000㎡の敷地に、芝生の広場、子供動物公園、花時計、遊具(宇宙ステーション)、サイクルモノレール、園芸植物園などがあり、一年を通して家族連れで楽しめます。また、温水プールやサウナもある入浴施設「見沼ヘルシーランド」も隣接しています。



さいたま市立博物館

「原始」から「近・現代」までの人々の暮らしや歴史・文化を年代順に分かりやすく展示しています。「近世」では、中山道浦和宿・大宮宿の様子や農民の暮らし、「近・現代」では、農家の暮らしや戦争に関することも紹介しています。また、定期的に特別展も開催しています。



氷川女体神社

武蔵国有数の古社で、見沼の谷に突き出した小舌状台地上にあります。クス、モチ、シラカシなどの暖地性植物が繁茂している社叢は市の天然記念物、及び県の「ふるさとの森」にも指定されています。また、一般公開はしていませんが、所蔵する文



化財が多いことで知られ「埼玉の正倉院」とも呼ばれています。

見性院の墓（清泰寺）

円仁によって開祖された「清泰寺」にあります。見性院は穴山梅雪の妻で、武田信玄の次女でもあります。夫の死後、徳川家康に保護され比企尼屋敷に住みました。二代将軍秀忠の侍女お静の方が妊娠するとこれを保護し、ここで生まれた後の会津藩主保科正之を7歳まで養育しました。現在の墓石は、1858年に会津藩により建てられたものです。



[さいたま市岩槻区]

東玉人形の博物館

東玉のコレクションより生まれた「人形の博物館」です。その収蔵品は多彩で、御所人形、雛人形、羽子板、五月人形、衣装人形やあやつり、からくり人形、さらには現代作家名匠の逸品から海外の人形までが展示されています。また、見学の出来る人形工房や和風小物の売店が併設されています。



慈恩寺

華林山最上院ともいい、天長元年（824）に慈覚大師によって開かれた天台宗の古刹です。江戸時代には徳川家康から寺領100石を拝領していたこともあり、坂東33ヶ所観音霊場の12番札所でもあることから、今も境内は参拝や観光に訪れる人々で賑わっています。また、西遊記で名高い玄奘三蔵法師の霊骨石塔があります。

岩槻城址公園

岩槻城址公園は、約600本の桜が咲く県内有数の桜の名勝です。自然林に囲まれた起伏の多い公園で、岩槻城の土塁が今も現存しています。また、四季を通じて数々の賑やかな催し物が開催されます。春の季節には、岩槻城址公園桜まつり、岩槻流しびなが行なわれ、秋には人形供養祭が行なわれます。



時の鐘



岩槻城の鐘楼で、1671年当時の岩槻城主阿部正春が洪江口に設置しました。昔はこの鐘の音が九里四方に鳴り響き、江戸にとどくほどだったと言われています。以来、享保5年（1720）の改鑄を経て、現在に至るまで、美しい音色を響かせて、今も午前6時と午後6時には、市民に時を知らせています。

川口市

道の駅 川口・あんぎょう

川口市の伝統産業である「植木・花と造園」の特産農業の振興を図り、緑化産業の為の各種情報収集、発信基地として建設されました。施設内には川口緑化センター「樹里安(じゅりあん)」が併設され、鉢花の展示に加えて各種のイベントを実施しています。



川口市立グリーンセンター

熱帯植物が通年観賞出来る大温室やバードセンター、花菖蒲園、ミニ鉄道、アスレチックなど様々な施設があり、隣接する流水プールは夏季（7月中旬～8月下旬）はプールとして、冬季（12月下旬～翌年2月）はアイススケート場として利用出来ます。また、4月中旬頃から園内に自生しているつつじが見頃を迎えます。



SKIPシテイ彩の国ビジュアルプラザ

日本初の本格的な映像制作体験が可能な「映像ミュージアム」や、貴重な映像資料を公開する「映像公開ライブラリー」、さらに「スタジオ」、「映像制作支援室」、「映像ホール」、「インキュベートオフィス」を備えています。



戸田市

彩湖自然学習センター

5階からなる彩湖周辺の自然環境や荒川の治水・利水事業などについて、学習頂ける総合施設で、屋上には展望広場があり、ライブカメラも設置されています。彩湖・道満地域という立地環境を生かし、野鳥観察会や自然観察会などの自然体験学習も定期的に行っています。

彩湖・堂満グリーンパーク

荒川を横切るおしゃれな斜張橋が幸魂大橋です。夜にはライトアップ



ぶされ、その美しさで東京外郭環状道路のシンボルにもなっています。この橋の周りには、調節池『彩湖』や総合公園『彩湖・道満グリーンパーク』が広がっており、レンタサイクルなどの貸し出しも行っています。また、特別天然記念物として保護されている「サクラソウ」の再生に取り組んでいます。

蕨市

河鍋曉斎記念美術館

河鍋曉斎は幕末から明治にかけて活躍した狩野派の人気絵師で、道釈人物画から浮世絵版画、戯画・風刺画まで幅広い作品を描きました。曉斎の曾孫にあたる河鍋楠美氏が自宅を改装して開館したもので、同館では肉筆、版画などの完成作品のほか、下絵、画稿など多数所蔵し、常時40点ほど展示しています。



桶川市

べに花ふるさと館

母屋は明治の旧家を長屋門とともに改築したもので、ミニコンサート・ミニギャラリーなどの各種イベントが行われます。桶川市では冠婚葬祭などの際に、昔から多くの家庭で「手打ちうどん」が供されてきたことから、手打ちうどんもご提供・販売しています。また、べに花の見頃の6月下旬～7月初旬にかけて「べに花まつり」が開催されます。



中山道宿場館

桶川市の宿場情報や市内の史跡・観光情報のご案内のほか、中山道の情報もあわせてご案内をしています。街道の昔を再発見できるDVD上映、版画師気分がちょっぴり味わえる中山道桶川宿の3色刷り体験など、お楽しみ頂ける観光案内所・お休み処です。

上尾市

上尾丸山公園

上尾丸山公園は「水と緑の調和」をテーマに昭和53年に開園した総合公園です。公園内を横断する約2.4ヘクタールの釣りも楽しめる大きな池、子供たちに大人気な、大型遊具、芝生広場、滑り台、砂場、小アスレチック、小動物コーナーなどが



あります。また、花の名所としても有名で春にはソメイヨシノ、秋にはコスモスも花を咲かせます。

榎本牧場

上尾市にある乳牛を飼っている牧場です。搾りたてのミルクを低温殺菌したジェラートアイスを販売。牧場体験では乳搾り、ほ乳、バター作り等普段の生活では出来ないことを体験できます。乳牛の他にもロバ、犬、猫、山羊、ミニブタ、ウサギなど多種の動物もいます。バーベキュー場も併設されています。



埼玉県立武道館

埼玉県立の武道館です。主道場は客席数1,510席あり柔道6面、剣道8面を頂けます。その他、第一道場(畳)、第二道場(床)、弓道場(近的・遠的)、相撲場(屋内・屋外)、会議室を備え付けており、幅広い目的でご利用頂けます。



伊奈町

伊奈氏屋敷跡

伊奈氏は、清和源氏の流れを汲んでいると言われています。現在でも屋敷跡には、当時をしのばせる土塁、堀、道路などが現存しているとともに、「表門」、「裏門」、「蔵屋敷」、「陣屋」などの名称も伝承として残っています。また、昭和59年に発見された障子堀は現在は埋め戻されています。県の文化財に指定されています

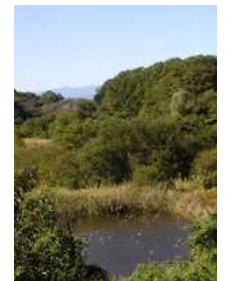
県民活動センター



北本市

埼玉県自然学習センター

北本自然観察公園内にある自然学習センターは、自然とのふれあいや環境教育を目的として、土曜・日曜・祝日を中心に、さまざまな自然観察・体験イベントを開催しています。館内には、自然や環境問題に関する展示のほか、自然系書籍が充実した図書情報コーナーがあります。スタッフが常駐しており、公園内の自然観察情報を提供しています。



石戸蒲ザクラ

東光寺境内にある桜です。樹齢が約800年のカバザクラの古木のひとつで、日本五大桜の一つに数えられる天然記念物の名木として有名です。この地に訪れた源頼朝の異母弟である源範頼の別名である「蒲冠者(かばのかじゃ)」にちなんでこの名がついたと伝えられています。



鴻巣市

荒川コスモス街道

埼玉県内でも有数のコスモスの名所で、約4.5kmの荒川沿いの街道に、薄紅色、白、黄色のコスモスが合計1000万本咲いています。花畑から見える富士山や秩父連山、日本一長い水管橋など、ここにしかない景色をお楽しみ頂けます。花の見頃は10月中旬から下旬にかけてです。



ポピー・ハッピースクエア

12.5ヘクタールの日本一広いポピー畑です。赤やオレンジのポピーが美しく咲き広がります。5月の花の見ごろの頃になると、ポピー祭りが開催されます。ステージショーや地元農産物の販売などが行われ、多くの観光客で賑わいます。



行田市

古代蓮の里

6月中旬にかけて42種類12万株の花蓮を見ることができます。花卉の数が少ない原始的な形態を持つ行田蓮は、約1400~3000年前の蓮であると言われています。また園内には他にも水生植物園、水鳥の池、牡丹園、梅林、桜の木のあるお花見広場があり、年間を通して自然の美に触れることができます。また、無料でレンタサイクルのサービスも行っています。」



行田市郷土博物館



行田市の歴史を通観すると、三つの大きな特色があります。一つは115文字の銘文が発見された埼玉古墳群に代表される古代の歴史と文化、次に忍城の城下町としての歴史と文化、三つ目は明治以降行田の基幹産業であった足袋づくりです。常設展示では、この三つの特色を四つのコーナーで紹介しています。

忍城址

関東七名城に謳われた忍城は1460年代の初め頃に築城され、上杉、北条氏との戦いにも落城せず、石田三成の水攻めにも耐え、戦国の世を生き抜いた名城です。忍城本丸の跡地に往時の面影を再現した忍城址(おしじょうし)が整備され、本丸として機能した御三階櫓も復元されています。



さきたま古墳公園

9基の大型古墳が集中する東日本最大の「埼玉古墳群」を中心に整備された公園です。特に国宝「金錯銘鉄剣」が出土した稲荷山古墳は有名です。古墳群周辺は、レストハウスやあずまやが整備され、古代のロマンに想いをよせながらの歴史散歩を楽しむことができます。



加須市

埼玉県環境科学国際センター

環境に関する調査研究を行う「研究所」に、体感型の環境学習ができる「展示館」やビオトープ手法で里山を復元した「生態園」を併設した複合施設です。生態園では、四季を通じて様々な動植物をお楽しみ頂けます。また、体験講座、講演会なども定期的に開催しています。



ジャンボ鯉のぼり

毎年5月3日に利根川河川敷緑地公園内で開催されているお祭りを市民平和祭と言います。全長100mに及ぶジャンボこいのぼりの遊泳やステージショーなど多彩な催し物で賑わう、市民の平和への願いをこめた祭典です。また、5月の公園内は菜の花畑が続いており、その上を鯉のぼりが遊泳します。



渡良瀬遊水地

渡良瀬遊水地は、関東平野のほぼ中心に位置し、栃木・群馬・埼玉・茨城4県にまたがる大遊水地です。本来の低地の自然環境が保全されており、緑豊かで広大なヨシ原が広がっています。多くの植物・昆虫・鳥たちがいて、植物観察やバードウォッチングに最適です。



加須未来館

総合交流ターミナル、子ども宇宙科学館、農産物直売所などの総合施設です。天体観測室は傾斜型のドームで、クーデ式望遠鏡は、館内のコンピューターから操作することが出来、コンピューターの画面からドームの開閉や天体の自動導入が可能です。屋上の屋外自然観察スペースは、自然観察はもとより、夜間の天体観測スペースとしても活用されます。



春日部市

道の駅 庄和

肥沃な農地と屋敷林が織りなす田園風景に囲まれた自然環境の中に道の駅「庄和」があります。推奨品を中心とした商品や、全国各地の名産品を集め、様々なお土産が販売されています。農産物直売所では地元産の新鮮な朝取り野菜を販売しており、観光客で賑わっています。



牛島の藤

この藤は樹齢約1200年あると言われています。本州・四国・九州の山地にあるが、その最も優秀な園芸の変種で花房の長さは最も長い物で2mにもなり、根まわり10㎡、花色は美しい藤紫です。樹は根本から数本に分岐して藤棚の面積700㎡にも及んでいます。見頃は毎年4月下旬～5月上旬で、花時の眺めは世界一と賞賛されています。



首都圏外郭放水路 龍Q館

首都圏外郭放水路の見学施設です。地底の巨大施設や洪水のこと、



川についてなど楽しく学んで頂けます。「龍Q館」のネーミングは、館のある春日部市（旧庄和町）に伝わる「火伏の龍」伝説と、「AQUA（水）」にちなんだものです。地底の不思議、水の怖さやはたらき、巨大施設などを、体感頂けます。

内牧公園

細長い地形の公園で、公園に沿うように内牧サイクリングロードが通っています。園内には小川があり、夏には家族連れで賑わっています。その他、アスレチック広場・バーベキュー広場・ピクニック広場・じゃぶじゃぶ池・多目的広場・堅穴式住居広場・お花見広場・林間アスレチック広場が併設されています。



羽生市

道の駅 はにゅう

新鮮な野菜や特産品、地酒等の販売を行っています。利根川と日光連山を見渡すことができ、夕刻にはこれらの大自然が赤く染まる風景は圧倒されます。



羽生水郷公園

羽生市水郷公園には、食虫植物・ムジナモの自生地として知られる宝蔵寺沼があります。菖蒲田、修景池など水を取り入れた施設を中心に整備され、さらに園内にはさいたま水族館が併設され、多くの観光客で賑わっています。



さいたま水族館

羽生水郷公園内にある全国でも珍しい淡水魚中心の水族館です。国の天然記念物ミヤコタナゴや県の魚ムサシトミヨなど川や沼に生息する約70種類の魚や、カメ、エビなど約20種類の小動物を展示しています。また、「巨大魚」や「カメ」とのふれあいイベントも実施しています。



建福寺（田舎教師墓碑）

田山花袋の名作『田舎教師』の主人公のモデルになった小林秀三のお



墓があります。秀三は旧本堂に約1年間下宿していました。また、本堂の中には秀三の肖像写真などがあります。作品中では、成願寺という名前で登場しています。

田舎教師像

弥勒高等小学校跡地にある田山花袋の小説「田舎教師」の主人公・小林秀三の等身大ブロンズ像です。羽織袴に烏打帽子をかぶり、風呂敷の包みを持ち正面を見すえ立っています。秀三は中学校卒業後、三田ヶ谷村の弥勒高等小学校の准教員として教鞭をとりました。

草加市

草加市伝統産業展示室

草加市文化会館の中にある「伝統産業展示室」では、「展示コーナー」「販売コーナー」「実演コーナー」など、草加市の伝統産業について知ることができます。また、せんべいの手焼き体験・レザークラフト教室等も行っています。



草加市歴史民俗資料館

郷土の歴史資料や民俗資料を展示しています。収蔵品には、丸木船（縄文時代前期）、土器（古墳時代）、古文書、板碑（鎌倉時代）、農具、大川家復元模型などがあります。その他、郷土の作家・豊田三郎氏及び森村桂氏のコーナー、松尾芭蕉コーナーを設置しています。



草加松原

綾瀬川沿いに広がる美しい松並木です。江戸時代から「草加松原」「千本松原」などと呼ばれ、日光街道の名所となっていました。600本余りの松が植樹された約1.5kmにも及ぶこの松並木は、石畳の散策道に整備されています。また、草加宿を訪れた文学者・正岡子規や俳人・水原秋桜子の句碑なども建てられています。



越谷市

県民健康福祉村

総面積が20ヘクタールを越える敷地の広い公園です。サイクリングコースやジョギングコースが併設されており、レンタサイクルも行っています。その他にも「プール」、「エアロビクス



スタジオ」、「トレーニングジム」等も設置されています。また、3月下旬から植樹されている桜が一斉に花を咲かせ、桜の名所としても知られています。

久伊豆神社

平安末期の創建といわれ、鎌倉時代には野与党の崇敬を受けたと伝えられています。古来、武門の尊崇を集めて栄え、江戸時代には徳川将軍家代々の保護が厚かった神社で、江戸時代には鷹狩りの折に越谷に宿をとっていた徳川の将軍が参拝されたと言われています。境内の藤は、県の天然記念物に指定されています。



蒲生の一里塚

一里塚は江戸日光街道沿いに一里ごとに設置された塚で、塚の植えに榎、松、杉等が植えられ、道程の目標や人馬賃銭の目安となり、また旅人の休憩の場などに用いられました。現在は高さ2m、東西幅5.7m、南北7.8mの東側一基だけが残っています。県内日光街道筋に現存する唯一の一里塚です。



越谷レイクタウン 水辺のまちづくり館

「水辺のまちづくり館」はホールから眺望テラスの向こうにある調節池の風景がご覧頂けます。また、まちの紹介、環境共生や地域交流に関する展示物などを展示しています。他にも、定期的に「野鳥観察・撮影会」、「浮島づくり」、「越谷レイクタウン・ランニング」、「冬のフェスタ」などのイベントが開催され、好評を博しています。



久喜市

鷲宮神社

約1900年前、景行天皇の時代に日本武尊の創建、あるいは古くは土師の宮と称したことから出雲系の氏族の開基と言われ、関東では最古の大社ともされています。神社に伝承される鷲宮催馬楽神楽は、国の重要無形民俗文化財に指定されています。また、アニメ「らき☆すた」では本神社が登場し、鷲宮では本作を元に町おこしがされています。



栗橋関跡

江戸時代、利根川には橋がなく奥州街道を往来する旅人は、利根川を渡し舟で渡らなければならなりませんでしたが。利根川を渡る者を取り締まったのが、この栗橋の関所です。「入り鉄砲と出女」と言われ、特に女性の取り調べは厳重で、重要な関所の一つでした。今現在では、石碑が建てられています。



静御前の墓

栗橋の地で亡くなった源義経の内妻、静御前の墓です。静御前は栗橋の地にあった寺に葬られましたが、墓がないのを哀れんだ幕府領を広域支配する代官である関東郡代が、1803年に墓碑を建立したと言われています。静御前の命日である9月15日には「静御前墓前祭」がささやかに行われています。



百観音温泉

豊富な湯量からなる源泉かけ流し100%の自噴温泉です。美肌効果があり、その他、皮膚湿疹、アレルギー、疲労回復などの効果があります。個室付貸切風呂や貸切風呂、露天風呂をお楽しみ頂けます。また、徳川家にゆかりがあり、消失していた「観音堂」が再建され、併設されています。



八潮市

太田家住宅

太田家住宅は、平成11年(1999)3月に市指定有形文化財に指定された、木造二階建て瓦ぶき、出桁構造の町家建築で埼玉県内でも数少ない建築物です。約150年の歴史があり、当時、八條の渡しの前で米問屋(酒屋)、旅籠を営んでいました。



中川やしおフラワーパーク

中川やしおフラワーパークは中川河川敷にあります。毎年3月~4月にかけて、約150本の花桃の木にピンクの花が咲き、黄色い菜の花が彩りを添えます。また、秋には、彼岸花やコスモスが楽しめます。多くの観光客で賑わっています。県内有数のコスモス自生地として知ら



れています。

三郷市

みさと公園

バーベキュー広場、こどもの砦、展望台、自由広場及び湿地を利用した自然観察園など子どもはもちろん、大人も楽しめる公園です。小合溜をはさんで東京都の水元公園と向かい合い、一体的な美しい水辺空間を形成しています。カルガモ、キジバト、シジュウカラ、ムクドリなど様々な野鳥観察も体験出来るほか、お花見スポットとしても知られています。



蓮田市

蓮田市文化財展示館

平成22年4月に開館した蓮田市文化財展示館には、全国的に有名な縄文時代前期(約6千年前)の遺跡「関山貝塚」や「黒浜貝塚群」などから出土した土器や装飾品などが展示されているほか、旧石器時代~平安時代までの市内出土の土器や石器を実際に触ることができるコーナーも併設されています。



白岡市

柴山沼

県内の自然沼としては、川越市の伊佐沼に次ぐ大きさの沼で、沼の面積は12.5平方km、水深は約8mです。白岡町が管理する釣り場としても有名で、ルアーフィッシングが正式に許可されています。釣りをされる方が非常に多く、土日は多くの釣り人で賑わいます。



岡泉鷺神社

岡泉鷺神社の創建は不詳ですが、天和元年(1681)この地に勧請と伝えられています。江戸時代の天保年間の頃に鷺神社から始まった「岡泉神楽」が今日まで伝えられ、神楽殿で奉納されています。また「大尽雛子」も文化財に指定されています。境内の大ケヤキは町の天然記念物に指定されています。



興善寺

曹洞宗の寺院で、慈覚大師円仁によって平安時代初期に天台宗の寺として開かれたと伝えられます。境内には鎌倉時代から室町時代の特徴をもつ五輪塔や宝篋印塔、板石塔婆などが残っています。また、朱印状が寺宝として伝えられ、「御朱印状十一點」と鎌倉時代に造られた「達磨大師像」は町の指定文化財になっています。



吉川市

密蔵院

創建年代は鎌倉時代、中興開山は1439年と伝えられています。「子育て安産の地藏尊」で知られる医王山錫杖寺密蔵院の大イチョウは、高さ約30m、太さ5.34m、根回り約12mです。晩秋には関東一といわれる多くの銀杏を見つけ、「子育てイチョウ」として親しまれており、県の文化財天然記念物に指定されています。



清浄寺

創建は1261年とされています。際手間県指定文化財の南無仏板碑があり、秩父産の青石に「南無仏」と刻まれた禅宗風の碑石で、鎌倉時代の僧、一山一寧の手によるものと言われています。鎌倉時代の六角形の塔、西念法師塔もあり、六角形の塔身の上に六角形のかさを乗せるという宝塔としては非常に珍しい形式です。



松伏町

まつぶし緑の丘公園

中川と大落古利根川に挟まれた平坦な区域に整備された都市型公園で、園内は「水辺」「広場」「里山」の3つのゾーンで構成されています。水辺散策や野鳥観察が頂けるほか、芝生広場や野原、疎林広場は人々の交流の場となっています。また、散策園路展望広場からは、公園全体を一望出来ます。



幸手市

権現堂公園 (桜・菜の花)

関東有数の桜の名所として有名です。3月下旬から4月上旬にかけて、約1000本の桜が咲き、1kmにわたって桜のトンネルを作ります。桜の周辺には菜の花が作付けされ、桜のピンクと菜の花の黄色とのコントラストは絶景です。また、梅雨の時期には紫陽花が咲き、秋には曼珠沙華(ヒガンバナ)が土手を真っ赤に染め、冬には水仙が咲き誇り、四季折々の花を楽しめる公園となっています。



銀杏地藏

市の東北部に位置する西関宿は江戸との水運で栄えました。臨川庵(りんせんあん)の境内には珍しいお地藏様があります。このお地藏さまは、樹齢500年といわれる大銀杏の胎内に刻まれ、今もなお、樹と共に成長し続けていて、今も参拝者が絶えません。銀杏地藏は子育て地藏として、子宝に恵まれない人などの信仰を集めています。



街道の道しるべ

徳川家の将軍が、初代将軍家康が祀られている日光山へ詣でするための道が御成道といえます。この日光社参は、2代将軍秀忠に始まって、12代将家慶まで19回にわたって行われました。幸手宿の南で日光道中と御成道が合流しましたので、幸手は古くから宿場町として栄えていました。当時の旅の案内『道しるべ』は今でも残されています。



外野橋

外野橋の構造的な特徴は、斜め吊材を採用した2径間連続自破式吊橋であることです。斜め吊材を使用した吊橋は、優れた構造特性と美観を合わせ持っており、世界に4橋しかない珍しい吊り橋で、幸手市のランドマークとなる美しい吊り橋です。桜まつり期間中はライトアップを行う予定となっています。



将門の首塚

浄誓寺には高さ3m程の塚があり、頂に風化した五輪塔が立っています。ここに天慶の乱(940)に敗れた将門の首が埋められているといわれ



ています。また付近には、将門の血が赤く木を染めたことからつけられたという赤木（あかぎ）という地名も残っています。

宮代町

宮代町コミュニティセンター進修館

町民が集い、創造する場として親しまれ、様々なコミュニティ活動の拠点施設です。そのユニークな外観から、町のランドマークとして広く親しまれています。大ホール・小ホール・集会室・研修室・和室・茶室・食堂・ボランティア室・ロビー・芝生広場が整備されています。



新しい村

大人は昔を思い出しながら懐かしい遊びがしたくなる！子供は広々はらっぱで元気に走り回り、緑の中では昆虫採集！毎月開催している色々な講座は、モノ作りやお料理教室、「魔女っ子見習い」などキッズ向けも人気です。新鮮お野菜の直売所「森の市場結」や旬のメニューが登場する「森のカフェ」も併設されています。

日本工業大学工業技術博物館

日本工業大学のキャンパス内に開設された博物館。わが国産業の発展に貢献した機械・機器・資料等を技術史的に整理して保存・展示。展示工作機械の70%は動態保存であり、明治末期から昭和中期まで実稼動していた機械加工の町工場も復元。明治24年にイギリスで製造されたSLも動態保存されています。



宮代町郷土資料館

年間を通じて企画展や講座などを実施しています。屋外には、町指定文化財の旧加藤家住宅や旧斎藤家住宅など複数の歴史的建造物があり、本館の展示とあわせて、宮代町の歴史を身近に感じることができます。また、常設展示室内に「郷土の偉人/島村盛助」コーナーが新設され、好評を得ています。



杉戸町

道の駅 アグリパークゆめすぎと

「Agricultural Park（農業公園）」の略で、農業を通じて人と人と



のふれあいの場を提供する施設です。施設は非常に広大で、農産物直売所、食堂 あぐり亭、ひだまり広場、イベント広場、バーベキュー広場、小動物広場、カントリー農園、ふれあい農園、体験水田、育苗施設など親子連れで1日かけて楽しめます。

御成街道一里塚

御成街道は日光街道の脇街道で、江戸時代徳川将軍の日光社参道としてつくられたものです。慶長九年（1604）、幕府は江戸日本橋を起点に一里ごとに塚を設けることを命じ、その時に築造された一里塚が、今も下高野と下野の境界に残されています。ほぼ原型が保存されているのは県内でも大変珍しく、大正十五年、県の指定史跡になりました。



- 参考資料 1. 埼玉県観光課「ちょこたひ埼玉」
2. 埼玉県道路環境課「埼玉県道の駅」

本誌に対する問い合わせ先

〒330-0074

さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎別館

埼玉県サイクリング協会

TEL/FAX 048-824-2711 E-mail sca_mail.jp@yahoo.co.jp

.....
: 発行 平成28年5月1日(初版) :
: 発行者 埼玉県サイクリング協会 :
: 編集責任者 渡邊廣次 :
.....